



日本学術会議主催学術フォーラム

Future Earth：持続可能な未来の社会へ向けて

日時：平成25年6月18日(火) 13:00～18:00

場所：日本学術会議講堂 定員：申込み先着300名

開催趣旨

Future Earth（以下、FEと略）は、国際科学会議（ICSU）が国連環境計画（UNEP）、国連大学（UNU）、国際社会科学協議会（ISSC）および有力国の研究資金配分機関で構成するベルモントフォーラム（BF）との連携で進めている統合的地球環境変化研究プログラムであり、研究者コミュニティ以外の（政策・行政担当者、経済界、各種NGO/NPOなどの）ステークホルダーとの協働（トランスディシプリナリティ）を通して、地域から地球全体の環境保全と持続可能性を追求するところにその特色がある。国際的に進みつつあるFEの実行計画案に対し、日本政府として、また日本の研究者コミュニティとしてのFEへの具体的な取り組みが今後の課題となっているという状況を鑑み、日本学術会議として、研究者のみならず関連するステークホルダーも含めた形でFEへの対応を論じ、具体的解決策を見出すことを目的とした学術フォーラムを開催する必要がある。

次第

総合司会 江守 正多（国立環境研究所地球環境研究センター気候変動リスク評価研究室長）

13:00-13:10 開会挨拶 Future Earthの背景と期待 大西 隆（日本学術会議会長）

13:10-13:55 【基調講演】

Planetary Boundary 今、目の前にある地球の危機、価値観転換の必要性 毛利 衛（日本学術会議連携会員、日本科学未来館館長）

Future Earthとは何か—その日本及びアジアでの意味 安成 哲三（日本学術会議会員、人間文化研究機構総合地球環境学研究所所長）

13:55-14:55 【Session 1】

地球の危機：G E Cからの実証 WCRPからの実証 中島 映至（日本学術会議会員、東京大学大気海洋研究所教授、地球表層圏変動研究センター長）

IGBPからの実証 植松 光夫（日本学術会議特任連携会員、東京大学大気海洋研究所教授）

DIVERSITASからの実証 矢原 徹一（日本学術会議連携会員、九州大学大学院理学研究院教授）

IHDPからの実証 氷見山 幸夫（日本学術会議会員、北海道教育大学教育学部教授）

グローバルな水問題からの実証 沖 大幹（日本学術会議連携会員、東京大学生産技術研究所教授）

アジアからの実証 山形 俊男（日本学術会議連携会員、独立行政法人海洋研究開発機構アプリケーションラボ（JAMSTEC）所長）

14:55-15:10 休憩

15:10-16:00 【Session 2】 Future Earthが必要とされる背景（文理融合・人文社会科学からの問題提起）

政治学・環境ガバナンスからの問題提起 蟹江 憲史（日本学術会議特任連携会員、東京工業大学大学院社会理工学研究科准教授）

科学哲学からの問題提起 小林 傳司（日本学術会議連携会員、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授）

経済学からの問題提起 植田 和弘（日本学術会議特任連携会員、京都大学大学院経済学研究科研究科長）

文化人類学からの問題提起 岸上 伸啓（日本学術会議連携会員、人間文化研究機構国立民族学博物館副館長、教授）

インターディシプリナリー、トランスディシプリナリーアプローチの意義 森 壮一（文部科学省研究開発局 研究開発分析官）

16:00-17:00 【Session 3】 社会から学術界に求めること

科学技術政策立案からの視点 原山 優子（総合科学技術会議議員）

Future Earthのアライアンスとしての貢献 武内 和彦（日本学術会議連携会員、国連大学上級副学長、東京大学サステナビリティ学連携研究機構教授）

アジア太平洋域でのFE展開戦略からの視点 森 秀行（公益財団法人地球環境戦略研究機関所長）

持続可能な未来と環境教育 田中 邦明（北海道教育大学教育学部教授）

17:00-17:58 【パネル討論】 では、Future Earthをどう進めていくべきか

司会：安成 哲三（日本学術会議会員、人間文化研究機構総合地球環境学研究所所長）

パネリスト：植田 和弘（日本学術会議特任連携会員、京都大学大学院経済学研究科研究科長）

谷口 真人（日本学術会議特任連携会員、総合地球環境学研究所教授）

村山 泰啓（情報通信研究機構室長、京都大学客員教授）

小池 俊雄（日本学術会議連携会員、東京大学大学院工学系研究科教授）

花木 啓祐（日本学術会議会員、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授）

清浦 隆（文部科学省研究開発局 環境エネルギー課推進官）

辻原 浩（環境省地球環境局総務課研究調査室長）

17:58-18:00 【閉会挨拶】

春日 文子（日本学術会議副会長）

日本学術会議案内図



申込先：日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL:03-3403-6295 FAX:03-3403-1260

申込みフォーム：<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>